

□議員名：岡山 明

1 道路の整備について

論点	地域住民から、「車道が波打っている。大型車の走行で車のわだちがひどく、軽自動車、バイクの運転にも支障が出ている。事故の心配もある。また、雨天時には歩道側に水しぶきをかける事もある」との声があるがどうか。
回答	市道は、438路線、総延長322kmあり、全ての路線を常時パトロールすることは困難である。舗装道路の不具合に対し、まず現場確認を実施。危険度が高い場合、即時補修を実施している。

論点	排水性舗装に関して、水たまり等の改善、車がスリップしにくいことで事故防止になる。この舗装工事の考えはどうか。
回答	排水性舗装にするためには、排水性舗装の下に排水するための舗装がもう一層必要となり、その排水のための側溝を設置する必要があるなど非常に高額な改修費用がかかる。現時点では計画はしていないが、排水性舗装が可能な規格の道路を新設する場合には、検討したい。

論点	排水性舗装は高額な費用がかかる状況の中で、山陽小野田市には、一つ大きな補助金として、石油貯蔵施設立地対策等補助金があるが、この対象事業に排水性舗装工事は該当できないのか。
回答	石油貯蔵施設立地対策等補助金の利用を今後考えていきたい。

論点	歩道の街路樹の問題として、歩道面における根上がりにより、通行に際し、歩行者、自転車等への大きなトラブルの原因にもなっているが対応はどうか。
回答	根上がりが原因で歩道の舗装を押し上げ、また段差ができることもある。緊急性があれば修繕対応を行っている。昨年、市道に関しては一応全部確認している。今年度、予算確保ができ、緊急性の高いところから順次整備していく。

2 市の管理する浴室の運用について

論点	入浴設備の管理・対応はどうか。利用者の多い中央福祉センターではシャワー付きの蛇口が1つのみである。増やせば、湯切れの可能性があるのではないか、大丈夫か。
回答	中央福祉センターには、シャワー付きの蛇口が1つしかない。他の施設の利用者数に比べシャワーの数は少なく、今後検討していく。また、湯切れについては、平成22年にエコ給湯システムを導入しており、お湯の量、温度についても問題はないと考えている。

論点	きらら交流館が対象となると思うが、入浴者の制限について、タトゥー・入れ墨のある方の対応状況を確認したい。
回答	そうした方に対し、それを理由に入浴の制限はしていない。館内の秩序や風紀を乱す恐れがあると認められる時や管理上不適切と認められる時に制限することとしている。なお、他の入浴者に恐怖や威圧感を感じさせる入れ墨、タトゥーをした人が浴室を利用されていると知った時は、その方を確認し、行動を注視するとともに、不審な行動をした時や館内の秩序、風紀を乱す可能性が高いと思える時は、直ちに声をかけられるようにしている。

論点	障害者、高齢者等が利用しやすい施設の整備に対して、バリアフリー化の取り組みをどう進めるか。
回答	入浴施設のバリアフリー化については、全ての浴室に、浴槽からの立ち上がり部分と洗い場に手すりを設置している。また、脱衣所、浴室床は滑りにくい素材となっている。更衣室まで車椅子で乗り入れることのできるところが本山福祉会館と高泊福祉会館の2カ所となっている。しかしながら、いずれの施設も、車椅子に乗ったまま入浴できる設備は有りません。各福祉会館及び福祉センターの入浴設備等については、各施設の現状を踏まえつつ検討していきたい。

3 各公園における遊具等の管理について

論点	遊具の設置・撤去基準はあるのかどうか。
回答	遊具の設置・撤去基準については特に定めていない。公園を新しく整備する際には、公園の規模や目的に応じて市の判断で遊具を設置している。ただし、街区公園につきましては、主に利用される近隣の自治会や子供会の意見を参考にしている。全ての公園の定期点検を年に2回実施、経年変化で腐食等の危険性があると判断したものについては修繕、無理であれば撤去の形をとっている。

論点	遊具の撤去、再設置の状況はどうか。
回答	遊具の点検を行い、ほとんどは修繕で対応している。ただし、5年間で10件ほどは、これはもう無理ということで撤去した状況である。子供たちが遊ぶ公園もなかなか少なくなっている状況もある。そういう中で、現在は撤去という形で再設置はされていないが、今後、その状況に応じては必要かと思われる。

論点	須恵公園に高齢者向けの健康遊具を設置し、健康増進及び、地域交流の場として、公園をもっと活用すべきではないか。
回答	運動広場にストレッチなど軽い運動ができる5種類の遊具を設置していた。しかしながら、木製遊具ということもあり、長い年月で老朽化のため、現在では、全ての遊具を撤去。平成30年3月に公園利用者にアンケートを実施。健康遊具の設置については、設置してほしいが51%と過半数を占めている。設置しなくてもよいが36%、どちらでもよいが13%であった。健康志向の高まりなどにより、健康公園に、再び健康遊具への設置。この要望もあるので、今回のアンケート調査を踏まえ検討したい。

※一般質問(代表質問)における論点について、わかりやすくまとめる。

文字は12ポイントで統一し、ひとり3枚以内とする。

1つの論点と回答につき、論点は2行程度、回答は4行程度とする。